

気候影響・利用研究会第50回記念シンポジウム

協賛：NPO 法人バイオクリマ研究会

日時：2009年03月20日(金・祝)10:00～17:00

場所：日本大学オーバルホール(100名収容)

テーマ：夏季の異常高温とその影響・利用

参加費(予稿集代を含む)：一般¥1,000, 会員(協賛団体を含む)¥500

プログラム

10:00～11:30

1. 異常高温の報告と温暖化

- ①「熊谷における2007年猛暑とその周辺」：小柴厚(熊谷地方気象台)
- ②「近年の関東域における高温化傾向の要因分析」：足立幸穂(筑波大学生命環境科学研究科)
- ③「全国的に見た猛暑日等のトレンドの実態」：礪部英彦(気象庁)
(昼食)

12:30～13:00

気候影響・利用研究会2008年度総会

13:00～13:15

会長講演「気候影響・利用研究会の歴史」：加藤央之(日本大学文理学部)

13:15～15:15

2. 農林水産業への影響

- ④「2007年猛暑における高温不稔調査報告」：吉本真由美(農業環境技術研究所)
- ⑤「日本海における海洋環境の変化と水産資源の応答ー特に1980年代末のレジームシフトの影響について」：田永軍(日本海区水産研究所)

3. 健康への影響

- ⑥「高温環境と熱中症」：星秋夫(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部)
(休憩)

15:30～17:00

- ⑦「暑熱適応の様相と活用」：中村泰人(京都大学名誉教授)

4. 社会・経済への影響

- ⑧「温暖化と食嗜好の変化」：石川勝敏(㈱ライフビジネスウェザー)
- ⑨「温暖化に対するエネルギー産業の課題」：中岡章(電力中央研究所)